

# Before & After

コンサート前後の楽しみ方で、さらに素晴らしい1日に



## After

「コンサートの後は、学校町通の“Ma Maison Bonjour(マメゾン ボンジュール)”や磯町の“すし清 矢ヶ崎”をよく利用しています」と二人。公演後に感想を語り合えば、新しい発見があることも。

## コンサートの合間に ビュッフェで寛ぎの時間を

コンサートホール、劇場、能楽堂ホワイエのビュッフェでは、開演前や休憩時にドリンクや軽食を提供しています。  
※イベントにより営業しない場合があります。



## Before

りゅーとびあ周辺の庭園や水辺では、のんびりと散歩する時間や、夜にはライトアップされた素敵な雰囲気を楽しめます。

「コンサートには派手すぎずキレイな服装で。荷物も小さめに、ガサガサと音が出るものは持たないようにしています」と萌未さん。

## きちんと知りたいクラシックのマナー 基本の“キ” for beginners

### 服装はあまり悩まないで

きちんとした服装じゃなくてもOK。カジュアルでもフォーマルでも、自分なりのおしゃれを楽しんで。夏は冷房が効いているので、外の気温に合わせた服装だと寒いかも。一枚羽織るものを持っていると安心です。

### できるだけ音をたてないように

スマホや携帯は入場前に電源オフ。意外に盲点なのが、鈴。キーホルダーなどに付いていたら、布に包むなど音が出ないように工夫しましょう。咳止めの飴は、チリチリという袋の開封音に気をつけて。

### 拍手はあわてず、ゆっくりと

交響曲の場合、1楽章や2楽章が終わっても拍手はしません。4楽章(あるいは最終楽章)が終わったら拍手をします。タイミングが分からなければ他の人が始めてからでOK。近年は、音楽の余韻を楽しんでからの拍手に変わってきています。

難しいことはありません!  
気楽に演奏を楽しみましょう♪



日々を愛する大人たち

# RYUTOPIAN

クラシック音楽のコンサートや、劇場でのお芝居など、舞台芸術を自然体で楽しんでいる人々があります。自由に、感じるままに。そこで得た感動を、明日への力に変えていく。そんな大人たちをご紹介します。

# 01

東京交響楽団  
第109回  
新潟定期演奏会

TOKYO  
SYMPHONY  
ORCHESTRA



## 今回のRYUTOPIAN

浅平萌未さん(娘) 「生活の中に自然とクラシック音楽が流れています」というお二人に、  
康子さん(母) コンサートの楽しみ方を聞きました。



## クラシック音楽は、映画のように

「クラシックを聴くと、まるで映画を観ているような気分になります」と萌未さん。「明るい場面や嵐のような場面など、曲中の起伏から受ける印象は物語を追っているようです。家でもクラシック音楽をかけていますが、りゅーとびあで聴く生のコンサートならではの迫力がありますね。360度から体に刺さってくる楽器の音、CDでは気づかない繊細な音にも感動します」  
一方、康子さんはこう話します。「クラシック音楽は生活の一部。朝も夜も食事の際にクラシックをかけて、お料理やお酒、家族との会話とともに楽しんでいます。穏やかな気持ちになる曲や、涙が溢れるような曲など、その日の気分で選んで鑑賞するのも楽しみ方のひとつです」

## チケット購入方法は3つ! どれも手続きカンタンです!

- りゅーとびあオンライン・チケット <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>  
※事前の利用登録が必要です。
- りゅーとびあ2F インフォメーションカウンター
- りゅーとびあチケット専用ダイヤル **025-224-5521**  
※11:00~19:00 / 休館日除く

ご来場  
お待ちしております!!



第109回 | 新潟定期演奏会  
東京交響楽団 2018年9月30日(日) 5:00p.m.  
りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

メンデルスゾーン: 序曲「フィンガルの洞窟」op.26  
ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73 「皇帝」  
ブラームス: 交響曲 第1番 ハ短調 op.68

【チケット料金】S席7,000円 A席6,000円 B席5,000円 C席3,000円 D席売切

U25シート1,500円 / 対象: 25歳以下(未就学児を除く)  
※コンサート当日空席がある場合に限り15:00よりインフォメーションで販売  
※購入時に年齢のわかるものを提示 ※席種及び座席番号の指定不可

【チケット取扱い】りゅーとびあチケット専用ダイヤル: **025-224-5521** (11:00~19:00 / 休館日除く)  
りゅーとびあオンライン・チケット: <http://www.ticket.ne.jp/ryutopiaticket/>  
新潟伊勢丹 / セブンチケット: <http://7ticket.jp/>

【主催】公益財団法人新潟市芸術文化振興財団  
【お問い合わせ】りゅーとびあチケット専用ダイヤル **025-224-5521** (11:00~19:00 / 休館日除く)

さあ共に、王道を行こう。  
楽聖の魂が誘う彼方へ。

ピアノ= スティーヴン・ハフ  
Piano = Stephen Hough

指揮= マクシム・エメリヤニチュフ  
Conductor = Maxim Emelyanychev

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA  
Jonathan Nott, Music Director



# コンサートの謎をひも解く

2018.9.30 sun 5:00p.m.  
東京交響楽団  
第109回新潟定期演奏会



洞窟にも行ってみたい!!



**六角形の岩が並ぶ不気味な洞窟**  
フィンガルの洞窟はスコットランドに実在し、曲はその印象を音楽にしたもの。圧倒的な表現力、描写力に注目です。ワーグナーは曲を聴いて、「メンデルスゾーンは一流の風景画家だ」と言ったそうですよ。ちなみにこの岩、「柱状節理」といって、新潟県十日町市の清津峡でも見ることができます。

**メンデルスゾーン：序曲「フィンガルの洞窟」op.26**  
F. Mendelssohn: The Hebrides Overture, op.26 (Fingal's Cave)

## 王道中の王道、定番のコースメニュー

今回の定期演奏会で演奏される3曲は序曲+協奏曲+交響曲という王道の組み合わせ。往年のファンにはたまらない、また新しいファンにはハズレのない公演になるでしょう。



## もともと音楽家は使用人

音楽家は貴族に雇われ、食事のBGMの作曲や、演奏をしていました。ところがベートーヴェンという圧倒的な天才が現れ、「私は王にも仕えない」「音楽には絶対的な価値がある」と言い放ったそうです。



## スティーヴン・ハフ(ピアノ)

ピアニストのみならず、作曲家、著述家としても活躍中。英「エコノミスト」紙の「20人の現代の博学者」にも選ばれ、クラシックの演奏家として初めて「天才賞」とマッカーサー・フェロー賞を受賞。頭脳と音楽、天は二物を与えたか。

今回のコンサートでピアノが設置されるのは恐らく指揮者の手前、客席から一番近くと思われるかも。どうぞお楽しみに。

これからの新しい社会を前向きな音楽で表現したかったのかな



## 悲惨な生活の中で

ベートーヴェンが住んでいたウィーンはナポレオン率いるフランス軍に占領され、作曲当時は不自由な生活を強いられました。街中に戦乱の砲音が響き渡り、耳の病気を持っていたベートーヴェンは地下室でクッションを耳に押し当てて過ごします。音楽のない荒廃したウィーンでの悲惨な生活。そこに師匠ハイドンの訃報も届く中で「皇帝」は作曲されました。

**2** **ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」**  
L.v. Beethoven: Piano Concerto No. 5 in E-flat major, op.73 "Emperor"

## 構想から完成までに21年

ベートーヴェンを崇拜していたブラームス。この曲はいたるところにベートーヴェンへのオマージュが散りばめられています。第1楽章には「タタ・タ」という「運命」と同じリズムを織り込んでおり、第4楽章(最終章)の主要主題は「歓喜の歌」の旋律と似ています。この交響曲 第1番に要した時間は、構想から完成までになんと21年。「偉大なるベートーヴェンの後に、何を書けば良いのか?」と苦悩した末に生まれました。しかし第2番はわずか3ヶ月で完成。呪縛から解き放たれたのでしょうか?



## 「皇帝」の名は出版者が付けた!?

ベートーヴェンが付けたのではなく、楽譜の出版元が曲のイメージから勝手に付けた通称。とはいえこの曲は堂々とした響きで、まさに「皇帝」そのもの。現代までネーミングが残っている時点で、命名した人は稀代のコピーライターと言えます。

**3** **ブラームス：交響曲 第1番 ハ短調 op.68**  
J. Brahms: Symphony No. 1 in C minor, op.68

ベートーヴェンを予習してから聴くとさらにブラームスを楽しめそう!



## 良い指揮者とは?

良い指揮者はまず耳が良く、オーケストラが奏でいくつもの音を瞬時に聴き分け、良いところやミス指摘し、自分が思う音楽へと導きます。コンサート当日までに緻密な音作りをし、本番ではカリスマ性で聴衆を惹きつける不可欠な存在です。



## マクシム・エメリヤニチェフ(指揮)

ロシアから現れたとてつもない才能で、今回が日本デビュー。現在30歳。今後人気が出ることも間違いなしのライジング・スターです。若き日のエメリヤニチェフを見ておくことは、後々財産になることでしょう。



天は二物を与える事もある

## ベートーヴェン「運命」

ちなみにベートーヴェンの「運命」も本人の命名ではありません。弟子のシントラーが「ジャジャジャーンって何?」と聞くと、ベートーヴェンが「運命はこうに扉をたたく」と答えたことに由来するそう。でも、このエピソードも本当かどうか…。



bits of knowledge

背景を知ると、コンサートは100倍楽しめる

